

# 矢板市 生活支援体制整備事業 第2層協議体準備会(5回目)を開催しました

第9号  
R1年7月

矢板市社会福祉協議会は、矢板市から生活支援体制整備事業の委託を受け、高齢者の方がいつまでも住み慣れた地域で元気に過ごすことができるよう、助け合い・支え合いのある地域づくりに取り組んでいます。

※この取り組みは、全国的に行われているものです。

第2層協議体設置に向けての準備会(5回目) ふりかえりをした後、各地区のテーマで進めています。

泉地区 6月21日 参加16名

【見守りについて】

・ 矢板市の見守りに関する事業について

- ①緊急通報装置貸与事業
- ②認知症等による徘徊高齢者等の  
事前登録制度

矢板市高齢対策課  
兼崎まりえ 主任

- ③老人給食サービス
- ④愛の訪問事業

矢板市社会福祉協議会  
生活支援コーディネーター 吉田正子

・ 見守り活動の紹介

矢板市木幡地区民生委員・木幡東高齢者見守り隊 及川健二さん

・ 話し合い「自分たちの地域ではどんなことができそうか」



## アンケート結果

アンケート回答者12名

- ◆ 矢板市の見守りに関する事業  
参考になった 12名
- ◆ 見守り活動について(木幡東高齢者見守り隊)  
参考になった 11名 どちらともいえない 1名
- ◆ 自分自身や地域できそうなことや取り入れてみたいこと
  - ・ 奉仕活動
  - ・ 地域の方々と相談して、木幡東の見守り隊に近づきたいと考えさせられた。
  - ・ 地域内の情報収集等
  - ・ 体の不自由な方の話し相手になりたい。

◆ 今後取り上げてほしいテーマ

- ・ デスクワークではなく、行動方向に出られる話し合いをしたい。
- ・ サロンの人を増やすには？
- ・ どのような体制になるのか？
- ◆ その他
  - ・ 泉地区として出来る事、課題等今まで出た内容をまとめた資料があれば次の段階に進めたいと思います。

⇒これまでの資料をもとに皆さんで話し合いができる機会をつくりたいと思います。

片岡地区 6月26日 参加14名

## アンケート結果

アンケート回答者5名

- ◆ コリーナシップの取組み・活動について  
参考になった 4名 未記入 1名
    - ・ 地区的に前向きな方がいるのは関心しました。
    - ・ 行政が足りない部分を自分たちの地区で、自分たちで助け合うということなんですね。
  - ◆ 今後取り上げてほしいテーマ
    - ・ 現在いろいろな形で困っている人は私の地区内にもいます。でも近所で見守り、手助けができています。
- ⇒実際、地域の中でどのように行っているのかなど、協議体で話をさせていただくとそれを参考に他の地区も活動につなげられるかもしれません。
- ◆ その他
    - ・ 地区でいろいろ話し合ってみました。個人にどう向き合っていくのか不安です。



【コリーナシップの取組み・活動紹介】

コリーナシップ 副会長 戸井出琉さん



【交通・移動の問題について】

・ 矢板市の交通・移動に関する事業について

①福祉タクシー事業

②高齢者外出支援事業（ともなりパス75）

高齢者運転免許自主返納事業（ともなりパス65）

矢板市高齢対策課 兼崎まりえ 主任

・ 大田原市佐久山地区の外出支援について

・ 高根沢町デマンド交通システム（たんたん号）について

アンケート結果

アンケート回答者17名

◆ 交通・移動問題について

参考になった 13名 どちらともいえない 3名  
未記入 1名

◆ 今後取り上げてほしいテーマ

- ・ 高齢者のマップづくりと見守り活動
- ・ 買い物難民への対策
- ・ 認知症について
- ・ 各地区で行っている支え合いなどの活動
- ・ 独居老人の食事対策、話し相手
- ・ 高齢者の防犯、防火対策
- ・ 各地区公民館の稼働率
- ・ 準備会はいつまでやるのか？できるものから早く立ち上げてはいかがでしょうか？

◆ その他

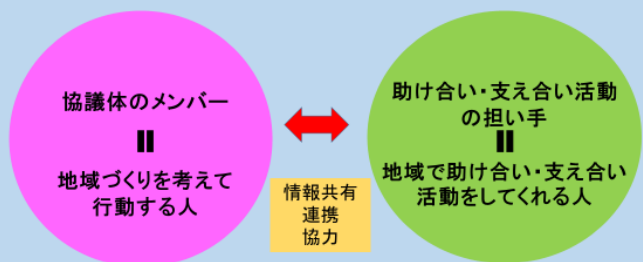
- ・ 課題の洗い出しと分類・対応策を個々に話し合う。
- ・ 地区社会福祉連絡会の活動範囲、第3層協議体の役割分担は？
- ・ 行政区役員、地区民生委員が回を重ねるごとに減少している印象がある。
- ・ 家の周りのできることがあれば、自分の経験を活かせる気がする。
- ・ メンバーの人たちが顔なじみになり、理解もある程度したら発足でいいと思います。

⇒発足についてのご意見もいただいていますので、皆さんで話し合う時間をつくりたいと思います。

各地区で準備会を進めていますが、『協議体』と『助け合い活動の担い手』が混同されているように感じます。

『協議体』は、基本的に毎月1回（地区によって日にちが決まっています）集まって、地域の情報（困り事や行われている活動、社会資源など）を共有し、活動・団体同士のつながり、見守り活動、居場所づくりなど、地区全体で高齢者を支える体制をできる範囲で考えていくものです。高齢になっても安心して暮し続けられるように、どのようなことが必要なのかを考え話し合っていくもので、『協議体』で助け合い・支え合い活動を行っていくわけではありません。協議体のメンバーは、普段はそれぞれの地域で生活し、団体などで活動をされている方々もいます。他で行われている活動などを知ること、自分たちの活動に取り入れたり、新しく始めるところが増えれば、助け合い・支え合いに関心を持つ方も増えていき、活動の輪が広がっていきます。

助け合い・支え合いのある地域づくりを行うメンバー



こうしたことを行いながら、高齢になっても安心して暮し続けることができる地域を目指していきます。そのためには、実際に地域で生活している皆さんの力が必要です！これは知らない誰かのためでもなく、協議体に参加する方だけが行えば良いというものでもありません。自分自身のためにも、地域で生活している一人一人が意識を変え、助け合い・支え合いに関心を持ち、できることをそれぞれの立場で取り組んでいくことが必要になります。



助け合い・支え合いのある地域づくりの取り組みは、今までにない新しいスタイル・手法です。私たちも初めてのことで、毎日試行錯誤の連続です。皆さんの地域を安心して暮らしていける地域にしていくために、皆さんの力が必要です！ぜひ私たちに皆さんの力を貸してください。

